

- 問1 奈良時代の743年に発令された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 公地公民制 2. 班田収授法 3. 墾田永年私財法 4. 三世一身の法
- 問2 古代の日本において、戸籍に登録された成年男子には兵役の義務が課せられていました。この制度に基づき、唐や新羅など大陸からの侵攻に備える目的で、九州北部の警備にあたった兵士の名称を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 健児（こんでい） 2. 衛士（えじ） 3. 屯田兵（とんでんへい） 4. 防人（さきもり）
- 問3 律令国家が国民を管理するために作成した戸籍に基づき、6歳以上の人々に割り当てられた田地を何と呼びますか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 私有地 2. 公田 3. 口分田 4. 墾田
- 問4 奈良時代、相次ぐ疫病の流行や政治的な混乱による社会不安をしずめ、仏教の力によって国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立した天皇は誰ですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 聖武天皇 2. 天武天皇 3. 桓武天皇 4. 推古天皇
- 問5 奈良時代の743年に出された、新しく開墾した土地の永久私有を認める法律と、その法律が日本の社会に与えた影響について、正しい説明はどれか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 三世一身の法が制定されたことで、三代にわたる土地の私有が認められ、農民の開墾意欲が永続的に維持されるようになった。
2. 太閤検地が実施されたことで、土地の所有者が確定し、年貢を納める責任者が明確になった。
3. 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。
4. 班田収授の法が制定されたことで、農民に口分田が与えられるようになり、公地公民の原則が確立された。
- 問6 正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」には樹木の下で唐風の衣装をまとった女性が描かれています。このような国際色豊かな文化が栄えた時代において、その時代（天平文化）の特徴を正しく説明している仏教彫刻はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 平安時代に藤原氏の権力を背景として、平等院鳳凰堂に安置された定朝作の阿弥陀如来像
2. 京都の広隆寺に安置されている、飛鳥時代の渡来人による技術の影響が見られる弥勒菩薩像
3. 飛鳥地方を中心に建立された寺院に見られる、北魏様式などの特徴を持つ日本最古の仏像
4. 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像
- 問7 奈良時代、人口の増加にともない、農民に分け与える土地である口分田が不足しました。この状況を改善するため、743年に出された、新しく開墾した土地を永遠に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 三世一身の法 2. 班田収授法 3. 太閤検地 4. 墾田永年私財法
- 問8 8世紀の文化的な特徴について、当時の社会背景と関連付けた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 武士の台頭に伴い、質実剛健で力強い様式が好まれ、禪宗の影響を強く受けた文化が普及した。
2. 大陸との交流を絶ったことで、日本独自の感性を重視する優美な和風文化が国風文化として開花した。
3. 聖徳太子の執政のもと、日本で最初の仏教文化として、大陸の南北朝時代の様式が取り入れられた。
4. 遣唐使によってもたらされた唐の文化と仏教が融合し、国家の安定を願う性格の強い文化が形成された。
- 問9 奈良時代、人口の増加によって律令制に基づく口分田が不足したため、聖武天皇は743年に新たな土地制度を定めました。開墾した土地を永久に自分のものにしてよいと認めたこの法律の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 班田収授法 2. 公地公民の制 3. 三世一身の法 4. 墾田永年私財法
- 問10 聖武天皇の遺品などが納められている正倉院には、インドに起源を持つ楽器や、西アジアでつくられたとされるガラス製品が保存されています。これらの品々が8世紀の日本に存在している理由として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 遣唐使が、唐に集まっていた西域やインドなどの多様な文化を持ち帰ったから
2. 南蛮貿易の開始により、西アジアのガラス細工が直接日本に届いたから
3. 鑑真が、東南アジア諸国を経由して多くの工芸品を日本へ伝えたから
4. 勘合貿易を通じて、明（中国）からインド産の豪華な宝物が輸入されたから
- 問11 奈良時代末期に大伴家持らによって編纂されたとされる、日本に現存する最古の歌集として適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 万葉集 2. 古今和歌集 3. 新古今和歌集 4. 日本書紀
- 問12 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 明 2. 宋 3. 元 4. 唐
- 問13 日本最古の歌集である万葉集には、東国などから九州の沿岸警備のために派遣された兵士たちが詠んだ「防人の歌（さきもりのうた）」が収録されています。当時の兵士たちが歌の中で表現していた、共通する心情として最も適切なものはどれか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ
2. 遠い九州の地で、外国の優れた文化を学べることへの期待感
3. 都での華やかな生活を懐かしみ、貴族の文化に憧れる優雅な気持ち
4. 天皇のために命を捧げて戦うことを名誉とする、兵士としての強い決意
- 問14 古代の九州北部に設置された大宰府の役割と、その背景について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 東北地方の蝦夷（えみし）に対抗するための軍事拠点として、鎮守府とともに設置された。
2. 鎌倉幕府が御家人たちの間で起こった土地に関する訴訟を裁決するために設置した。
3. 朝鮮半島や大陸との外交窓口としての役割と、防人の配置などを通じた国防上の拠点を兼ねていた。
4. 明治政府が北方の警備と開拓を同時に行うために設置し、屯田兵を配置した。
- 問15 聖武天皇の時代を中心に栄えた、唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな貴族文化を何といいますか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 飛鳥文化 2. 化政文化 3. 国風文化 4. 天平文化

答え合わせ・解説

問1	答え 3 墾田永年私財法	人口の増加にともなう口分田の不足を解消するため、政府は当初、723年に「三世一身の法」を出して三代に限り私有を認めましたが、期限が来ると土地が国に没収されるため、農民の開墾意欲は続きませんでした。そこで743年、開墾した土地を永年（永久）に私有することを認めるこの法律が制定されました。この制度により公地公民の原則が崩れ、貴族や寺院が広大な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなりました。
問2	答え 4 防人（さきもり）	律令国家の軍事制度において、九州北部の太宰府を中心に、対外防衛のために配置された兵士です。主に東国の農民が徴兵されましたが、九州までの旅費や食費、武器などは自己負担であったため、農民にとって極めて重い負担となりました。なお、屯田兵は明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士を指します。
問3	答え 3 口分田	律令国家は、戸籍によって国民の数や年齢を把握し、それに基づいて生活の基盤となる土地を割り当てました。この土地を口分田と呼び、人々に稲を納める税（租）の負担を求めました。
問4	答え 1 聖武天皇	奈良時代の中頃、天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった社会不安を背景に、仏教の力で国を治めようとする政策がとられました。この政策を進めたのは聖武天皇であり、全国に国分寺・国分尼寺を建立するだけでなく、都である平城京には東大寺を建立し、巨大な大仏（盧舎那仏）を造立しました。
問5	答え 3 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。	奈良時代、人口の増加に伴い、政府が農民に分け与える土地（口分田）が不足しました。これに対処するため、743年に「墾田永年私財法」が制定され、新しく開墾した土地の永久私有が認められました。この法により、豊富な財力を持つ貴族や寺院が大規模な土地を所有する「荘園」が形成されるようになり、それまでの「すべての土地と人民は国家のもの」とする公地公民の原則が崩れていくことになりました。
問6	答え 4 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像	奈良時代の天平文化は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化です。この時代の仏像は、鎮護国家の思想に基づき、国家の安泰を願って造られました。広隆寺の弥勒菩薩や飛鳥地方の仏像はそれ以前の飛鳥時代の文化、平等院の阿弥陀如来像は後の平安時代（国風文化）の仏像であり、制作された背景や目的が異なります。
問7	答え 4 墾田永年私財法	奈良時代の中頃になると、人口が増えたことで農民に割り当てる口分田が足りなくなりました。そこで政府は、開墾を積極的に進めさせるために「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、それまで「公地公民」の原則に基づき国のものであった土地が、個人の所有（私有地）として認められるようになり、のちの荘園へとつながる大きな転換点となりました。
問8	答え 4 遣唐使によってもたらされた唐の文化と仏教が融合し、国家の安定を願う性格の強い文化が形成された。	天平文化は、遣唐使の往来によってもたらされた唐の進んだ文化や、その先の西アジア・インドなどの国際的な影響を強く受けています。また、社会不安を解消するために仏教の力を借りようとした聖武天皇の「鎮護国家」の思想が、大仏造立や寺院建築といった形で具現化された点が、他の時代の文化との大きな違いです。
問9	答え 4 墾田永年私財法	聖武天皇が統治していた時代、人口の増加により国家から与えられる口分田が足りなくなるといった問題が発生していました。723年に提出された「三世一身の法」では開墾した土地の私有が三代までと限定されていましたが、農民の意欲が上がりず成果が乏しかったため、743年にこの法律を出し、土地の永久私有を認めることで開墾をさらに進めようとした。
問10	答え 1 遣唐使が、唐に集まっていた西域やインドなどの多様な文化を持ち帰ったから	天平文化が国際色豊かなのは、当時の唐が中央アジア、西アジア、インドなどと盛んに交流していたことが大きな要因です。日本から派遣された遣唐使は、唐の都である長安などでこれらの地域の文化に触れ、宝物や技術として日本へ持ち帰りました。正倉院の宝物は、当時の日本が唐を窓口として間接的に世界とつながっていたことを示す貴重な資料となっています。
問11	答え 1 万葉集	奈良時代の天平文化を代表する作品であり、全20巻から構成されています。大伴家持が最終的な編纂に関わったと考えられており、約4500首もの歌が収められています。平安時代に編纂された古今和歌集などと混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 4 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問13	答え 1 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ	律令制度のもと、民衆には租・庸・調などの税のほか、防人のような厳しい兵役が課されていた。防人の多くは東国から徴兵され、遠い九州の地で長期間家族と離れて生活しなければならなかったため、万葉集には彼らが故郷や家族を深く思いやる素朴で切実な歌が多く残されている。
問14	答え 3 朝鮮半島や大陸との外交窓口としての役割と、防人の配置などを通じた国防上の拠点兼ねていた。	白村江の戦いでの敗北以降、律令国家は唐や新羅からの侵攻に備える必要がありました。大宰府は、現在の福岡県付近という大陸に近接した立地を活かし、使節を迎え入れる外交機能と、水城（みずき）や大野城などの防衛施設を管理する軍事機能を併せ持っていました。
問15	答え 4 天平文化	聖武天皇は仏教の力で国を守ろうとする鎮護国家の思想に基づき、東大寺の建立などを行いました。この時期の文化は遣唐使がもたらした大陸の文化の影響を強く受け、貴族を中心とした華やかな特色を持っています。平安時代中期に発達した日本独自の「国風文化」や、江戸時代後期の庶民文化である「化政文化」とは時代背景が異なります。